



「新たに育成プロジェクト発足」

1999年4月よりヴェルディSS相模原として20数年において多くのプロサッカー選手を輩出してきました。今後さらに「日本代表のレベルアップを目指し」日本を代表する選手を育成するプロジェクトを開始されました。2021年4月よりヴェルディ相模原ユース現3年生を対象にプロスカウトの評価を得た選手または相模原支部推薦を得た選手を対象に「某S大学サッカー部」「NHK プロフェッショナル仕事の流儀に出演の友人はじめドイツ・フランス在住のプロ指導者達」と「プロサッカー選手育成プロジェクト」を2022年より開始発足することとなりました。

某S大学サッカー部で4年間在籍しながら在籍途中に関わらず力を付けた選手を国内外、ヨーロッパプロチームへの契約選手を育成しようと言うものです。

もちろんその際に、プロ契約に関わるすべての準備は私共プロスタッフが行います。

多くの私立名門大学・高校サッカー部の現状は200~300名の選手を抱えています。

その中でちゃんとゲームができるのは20~30名程度。

東京都内の某有名TT高校サッカー部からオファーを受け入学したF君は高校2年生時に「プロ選手に成る目標を持って入学したが、自分が思っていたサッカー環境ではないと悩んだ末に…高校二年途中で学校を辞めヨーロッパに行ってプロ選手を目指したい!…」と相談を受けました。サポートするのは保護者ですので、すぐご両親とお会いして確認した結果、「子供の人生は一度しかないので可能な限りサポートする」…「中退しても行きたい」との意向でしたがアドバイスをして、高校3年時の1年間は通信制高校に転入して2020年3月にドイツ留学中に卒業しました。そのF君は昨年暮れにドイツブンデス4部リーグトップ3年契約をして私の友人宅でさらに上を目指してサッカー生活をベルリンで送っております。

「本気でサッカー選手を育てる気はどこにもないようね!?!」…私たちの会話からこのプロジェクトを発足するに至りました。

国内外のプロサッカーチームで日本トップレベルの実績を持つ友人はじめ海外で活躍する多くの仲間と力を合わせ本気でプロサッカー選手を育てようとジュニアからユースまでを相模原支部が担うこととなりました。

「自分が夢見ていたサッカー環境であったが、現実は違っていた!」などサッカー人生の中で悩みを抱える子供たちはたくさんいます。そんな子供たちのサポートもいたします。

優秀な人材・選手が埋もれてしまうことは日本サッカーにとって損失です。

日本以外の国では年齢に関わらず10才の子供と大人と一緒にサッカーを楽しんでいます。

1970年代の読売クラブには同様の環境が50年前にありました。私たちヴェルディSS相模原は、現在もその環境があります。現山形トップの南秀仁は中学1年生でユースチームに昇格させ東京ヴェルディユースへトップ契約した典型的な選手の一人です。

「実際に先日、高校サッカー出身の18歳の選手がヨーロッパプロチームからオファーが来ましたが、いざ行くとなった時点で臆して断った!」…と言う勇気のない事例もあります。

ヴェルディSS相模原

代表 土持功